

（仮称）次世代型スポーツ施設の整備に関する説明会の概要

1 日 時 令和5年9月25日（月）19：00～21：30

2 場 所 鈴谷公民館 小会議室1, 2

3 配布資料 （仮称）次世代型スポーツ施設の整備について

4 参加者 56名（市出席課室：スポーツ政策室、都市公園課）

5 質疑・応答

【質疑】

- ・ 中央区のまちづくり推進協議会は、5000人の興行用アリーナに賛成しているのか。それとも反対を押し切って進めているのか。協議会の総意として反対をしているはずだ。

【回答】

- ・ 与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会へは適宜説明を行っており、その中では心配の声や反対の声をいただいているのも事実です。ただ同協議会として、次世代型スポーツの整備の賛否について、採決等を行う組織ではないと認識しています。

【質疑】

- ・ この地域はずっと草ぼうぼうで、土が山積みになっていたり、暗かったり、近くを散歩していても本当に事件が起きなくてよかったなと思っている。いろいろあるが、やっと整備されているということはすごくいいことだなと思う。ただ、他の所から人が多く来るということは、マナーが悪い人がいれば、それは地域にとっては悪影響になると思うので何か考えはあるのか。

【回答】

- ・ 人が多く集まる施設を整備するという事で、近隣へのご迷惑、ご心配の声も確かにあると思います。例えば来場者の動線やマナーについては運営事業者と市で対策をしっかりとやっていきたいと考えています。また、市の総合振興計画や与野まちづくりマスタープランでは、与野中央公園の具体的な整備の方向性として、「地区内外から多くの人を訪れ交流できる公園を整備していく」と掲げておりますので、このような公園になるように整備を進めて参りたいと考えています。

【質疑】

- ・ 自治会講演会では、自治会長の賛同は得られたのか。また大半が賛成だったということなのか。

【回答】

- 中央区自治会連合会主催の講演会において、本施設の整備についてご説明を行いました。これについては賛成や反対の採決を取るような場ではございませんでした。また、自治会連合会についても、与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会と同様で、賛否について採決等を行う組織ではないと認識しています。講演会や、自治会連合会等でのご説明の際には、ご心配の声や、渋滞、駐車場等の対策をしっかりとしてほしいというような声、施設がどのようなものになるのかなどのご質問を頂いた一方、この場所の整備についてはもう何十年もこの状態で動いてこなかった状況であることから、しっかりと前に進めて欲しいといった声もいただきました。

【質問者】

- 今年3月に開かれた地元への説明会では、皆さんの賛同が得られたのか。

【回答】

- 3月に実施した説明会については、2月議会の報告を終えた後にパブリック・コメントを実施した「(仮称)次世代型スポーツ施設基本計画(案)」について、地域の住民の皆様にお知らせし、より多くの皆様からパブリック・コメントにご意見をお寄せいただくことを目的に実施をしたものです。この説明会の中で賛成や反対を問うたり、数を数えたりといったことは行っていません。

【質疑】

- 2月から3月にかけてパブリック・コメントが実施され、その結果がホームページに公開されているが、反対の声が多く示されている。反対の声が多いのに、そういった意見を踏まえようとするのか。

【回答】

- パブリック・コメントの制度は、賛否を問うものではなく、市の計画等の策定に際し、市民の皆様からご意見をお寄せいただき、それに対して市の考え方をご説明するという趣旨の制度です。「(仮称)次世代型スポーツ施設基本計画(案)」に関するパブリック・コメントについてもこの制度のもと、市民の皆様から多くのご意見をお寄せいただき、それに対して市の考え方をご説明するとともに、可能な限り取り入れられるご意見については取り入れたうえで、「(仮称)次世代型スポーツ施設基本計画」を策定させていただきました。

【質疑】

- PFI事業において、もし事業者が破産した場合にはどうなるのか。また破綻しなかったとしても、事業がきちんと継続して運営されるのかという部分は何か考えているのか。

【回答】

- PFI制度には、破綻を起こさないようにするためにモニタリングという仕組みが備わっています。これは毎年、財務や運営の状況について、行政において確認を行っていくものです。仕組みとして、このモニタリングには金融機関も入ってくるため、二重三重にチェックができる仕組みとなっています。また万が一破産、破綻という事態になった際には、後継事業者を見つけていくというスキームも整備をしていくことになっています。事業の実

施にあたっては、まずはモニタリングをきちんと行い、適切に事業期間内の運営ができるように努めて参りたいと考えております。

【質疑】

- まちづくりニュース 8 号に基本計画ゾーニング図が書いてありますが、ここに確かに「複合スポーツ施設」と書いてあるんですけど、今より全然小さいんです。次世代型スポーツ施設はこれの倍以上なんですけど、何でこんなになっちゃったのでしょうか。

【回答】

- まちづくりニュースへの掲載については、都度、市が検討を進めている事項について、与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会のリーディングプロジェクト 1 や、理事会等においてご相談をしながら掲載していただいているものです。まちづくりニュース 8 号に載っている複合スポーツ施設につきましても、これで決定ということではなくて、検討過程において、このような形で考えていますというものを載せていただいたものであり、これが決定事項として掲載されたものではないと認識しております。

【質疑】

- まちづくりニュース第 15 号にいきなり（仮称）次世代型スポーツ施設基本計画の抜粋というのが出ています。これについてはまちづくり推進協議会の総会で、さいたま市が出してくれているので出したと聞いたのですが、なぜ検討中のものが基本計画になってしまって、パブコメまで実施されたのでしょうか。

【回答】

- まちづくりニュースへの掲載については、パブリック・コメントを実施するにあたり市で策定した「（仮称）次世代型スポーツ施設基本計画（案）」をお示し、多くのご意見を頂くことを目的に、掲載についてまちづくり協議会へご相談し、ご了解をいただき掲載していただいたものです。まちづくり推進協議会へは、これまでも都度、本計画についてご説明の機会をいただいております。その中での意見では、緑の広場がなくなるのではないかなというご心配の声もございました。そういった声についても反映させながら、施設全体の規模感なども決めているところですのでご理解をいただきたいと思います。

【質疑】

- 中央区長がなぜこの場にこないのか。

【回答】

- 与野中央公園の整備や、（仮称）次世代型スポーツ施設の整備については、本日出席している都市局とスポーツ文化局が中心となって進めているものですので、本事業の説明についても所管課において責任をもって実施しているところです。

【質疑】

- 市民の皆様と意見交換をしながら検討するということですが、検討していないじゃないですか。どんな検討したんですか。

【回答】

- 意見交換の場ということであると、まちづくり協議会や中央区自治会連合会等にてご説明をし、それに対するご質問やご意見をいただいています。その中ではご心配の声や、反対の声もありました。また、わたしの提案や要望書等でも多くの声をいただいています。これらの声も踏まえながら、一方で、市が実現していくまちづくりの中で、この施設整備事業を進めていく責任もあります。様々なご意見を踏まえながら進めておりますが、例えば、反対のご意見についてそのまま受けとめ、事業を辞めてしまうというようなものでもございません。本市としては、政策を前に進めていくという立場で、最大限様々なご心配の部分も踏まえながら進めています。

【質疑】

- 協働で取り組むことについては、どのように考えているのか。

【回答】

- 協働ということについては、ひとつは中央区まちづくり推進協議会という、住民の皆様が主体的にまちづくりについて考えている組織がございますので、そういった場において市が考えていることについてご説明したり、まちづくりニュースによるお知らせについてご協力をいただきながら進めているものです。

【質疑】

- メインアリーナだけは、どう考えてもいらなくなっていく気がするのですがどうなんですか。サブアリーナをもう少し大きくして、より多くの市民が使えるようにするのはいかがでしょうか。今の計画より緑地面積も増えるし、噴水とかアスレチックを設置したり、バーベキュー場を作ったりして、交流も生まれるのではないのでしょうか。そういったメインアリーナを無くす方向での議論というのは今後されることはありますか。

【回答】

- 本市の考えとしましては、本施設は主に「みる」スポーツに資するメインアリーナと、「する」スポーツに資するサブアリーナがあり、その両施設をつなぐ結節空間が例えば、子どものあそび場やイベントスペース等として機能することで、“次世代の交流拠点”として機能するものであると考えています。

【質疑】

- 今後市民が出した意見を、受け入れる可能性はあるのか。市民と会話をしながら計画に落とし込んでいけるようなスケジュールになっているのだろうかとか、その辺りについて考えはあるか。

【回答】

- この計画を前に進めていくという中で、それをさらに良いものにしていくため、あるいは可能な限り地元の皆様のご心配を極小化していくために、様々なご意見を踏まえながら進めているものです。市民の皆様からの意見については、これまでもパブリック・コメントや事業の進捗に合わせて実施した説明会等でお聞きしてまいりましたが、今後も事業の進

捗に応じて皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと考えています。一方で、我々としては（仮称）次世代型スポーツ施設の整備を実現していくために、しっかりと事業進めていく責任もありますので、ご理解いただければと思います。

【質疑】

- 本日の資料については、与野中央公園全体の計画についてはほとんど載っておらず、アリーナの建設について載っているだけなのは問題ではないか。

【回答】

- 本日の説明会については、（仮称）次世代型スポーツ施設の整備に関してご説明をすることで開催をしているものですので、施設をなぜここに作るのか、どれくらいの規模なのか、そのほかご心配いただいている部分等も沢山あるということで、地元からお話をいただいたので、スポーツ施設の整備を担当しておりますスポーツ政策室において資料を作成しご説明をさせていただいているものです。施設中心の資料となっていることについては、本日の説明会の主旨についてご理解いただければと思います。

【質疑】

- サブアリーナについても資料にいろいろ書いてありますが、サブアリーナってのは要するに、我々も望んでいる体育館の建て替えですね。メインアリーナがなかったら本当に豊かな体育館もできるし、それから結節空間で防災拠点もできるだろうし、いろんな子供たちが遊べるような場所が広がるのではないですか。メインアリーナがあることでそれに対する反対の声が多く出ているのではないのでしょうか。そういった市民の声を無視して、トップダウンで押し通そうとするのはいかがなものかと思います。

【回答】

- 本日の説明会でもいただいているように、反対の声も多く上がっていることは十分理解しています。一方で反対の声ばかりではなく、この計画をぜひ進めて欲しいという意見も中にはございます。そうした様々な意見がある中で、市としては、将来のさいたま市のまちづくり、あるいは中央区のまちづくりにおいて、総合振興計画や与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン等に書かれているように、与野中央公園やその中の施設整備を実現させるために、検討を進めているものです。

【質疑】

- 与野中央通りの交通量調査をしたと思うのですが、与野中央公園の駐車場問題で一番懸念してるのは、駐車場の出口が1ヶ所だっただけです。必ず渋滞しますよ。それについての考えをぜひお聞かせいただきたいと思います。

【回答】

- ご指摘のとおり、現状の計画においては与野中央公園への西側から与野中央通りへの出入口については1ヶ所となっております。施設が稼働した後にどれぐらいの来場者の方が来るのかといったところは、引き続き検討していかなければいけないと思っております。その中で、現時点においては、他都市のアリーナ事例等についても研究をしながら検討を進

めているところです。例えば都市部のアリーナにおいては、駐車場の台数と市民の皆様にご利用いただく部分との兼ね合いという点で問題があることから、対策のとして車両での来場を抑制するような方法を採用している事例がございます。本施設でもそういった事例を引き続き研究しながら、また民間事業者と力を合わせて検討を進めていきたいと考えています。

【質疑】

- 行政手続法では、パブリック・コメントをとると、まず意見を十分に考慮し、受入れることについてはその修正を出し、受入れないことについては、なぜ受け入れられないかの説明をするとなっていると思います。しかし、パブリック・コメントの結果ではこれは駄目ですって書いてあるだけで、その理由は書いてありません。これはいつ明らかになるのでしょうか。

【回答】

- 本市が実施したパブリック・コメントでは、(仮称)次世代型スポーツ施設基本計画(案)に対して様々なご意見をいただいたところです。その中から可能な限り、受け入れられるところは受け入れ、修正できるところは修正をし、市としての考え方を整理したうえで基本計画を策定しました。一方で、ご質問は説明が足りないということですが、ホームページ等で公開しているものが本市の回答であり、我々といたしましては、制度の趣旨に則り、ご意見に対する市の考え方についてお答えをしているものと考えています。

【質疑】

- まちづくり推進協議会を都合のいいところだけ使わないでください。もともとあれは単なる意見聴取機関です。決定権は持ってません。それを承知で、できる限りの質問をしてるだけです。それを了承したとか黙ったとかそういうことで使って欲しくないです。

【回答】

- 市として与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会に対し、この計画内容についてご了承いただいたということはございません。まちづくりニュースへの掲載については、市からお願いをし、理事会においてご了解をいただいた上で掲載をしていただいた旨は先ほど説明したとおりです。

【質疑】

- 駐車場の問題について、15分以内に近隣の提携駐車場を探しているとのことですが、そこをアリーナの利用者に使われてしまうと、今度は近隣の人たちが使えなくなってしまう。そういうことなんかは考えているのでしょうか。

【回答】

- 交通量の調査の中で、事実確認のひとつとして、公園周辺に駐車場がどれだけあるかということを確認したものです。現在検討をしている交通分散の方法として、他のアリーナ事例では、自動車での来場を控えていただく、特にメインアリーナにおいて多くの観客が集まる興行開催時の来場者については公共交通機関での来場を促すような取り組みをしてい

るようなので、本施設でもそのような対策でできないか検討を進めています。しかしながらどうしても車で来た方に対して、路上駐車を薦めるわけにはいきませんので、その対策について検討する材料として周辺駐車場の調査を行ったものです。

【質疑】

- 3月の説明会の時には相当多数の意見が出たと思いますが、例えば、騒音の問題、近隣の治安悪化、子供の安全、駐車場の位置、交通事故の問題などいろいろ出ていましたが、説明会からもう半年経ってますけれども、この半年の間に何か対策とか検討とか協議とか進んだのでしょうか。それとも何もしてないのでしょうか。

【回答】

- まず騒音や振動といった影響についてですが、現時点で施設について、こういった構造のものを建てるので、ここにこういう騒音対策をとりますといった具体的なものが決まったわけではありませんので、現時点での回答はできません。また治安の悪化や騒音に関連して、来場者の方の導線については、市においてきちんと整備していくことを考えています。施設の構造からくる、騒音や振動の問題については、今後事業者に公募を募る中で、性能発注として出していきますので、きちんと対策できるように進めていきます。

【質疑】

- 今回鈴谷地区だけ説明会のお知らせをしたようなんですが、なぜ鈴谷だけなのでしょう。与野中央公園は道路を挟んで本町東、下落合、新中里といった地域が接しています。鈴谷地区だけということはおかしいんじゃないかと思えます。

【回答】

- 今回の説明会のきっかけとしましては、鈴谷地区の自治会の関係者の方から、地元で施設整備計画が進んでいる中で、心配の声も多くあるので、改めて説明していただきたいというお話がありましたので、今回鈴谷地区を対象とした説明会を開催させていただいたものです。本説明会の実施にあたり、事前に参加申込をしていただきましたが、その中には鈴谷地区以外の方からもお申し込みをいただいております、本日ご出席もいただいております。

【質疑】

- 3月の説明会では時間不足ですべての質問に対応してもらえませんでした。今日、処理しきれなかった質問はどうするつもりでしょうか。貴重な、こういう質問は公開でいただきたいと思えます。本日の質問の内容が公開されずうやむやにされることのないようにまたはこっそりと公表されることのないようにしてほしいと思えます。

【回答】

- ご質問とその回答について、議事メモのような形で公開をしていきたいと考えています。

【質疑】

- 公表している52億円の他に幾らかかりますか。全国にいろいろなアリーナが建てられており、実際にかかった建築費も発表されています。興行用のアリーナですけれども、おそら

く規模から比較すると 100 億円以上かかるのではないですか。地盤改良についてはこれと別に幾らかかりますか。

【回答】

- 現在公表しております超概算 52 億円につきましては、現段階で算出している試算値でございます。こちらの算出方法につきましては、検討の初期段階において算出しているものですから、既存の類似事例等を参考にして導き出した単価を用いて算出したものでございます。今般の経済状況等により当然変動してくるものと考えております。また例えば地盤改良費ですとか、交通対策費等については、施設整備の他に係る費用でありこの中には含まれておりません。今後事業の進捗に応じてさらなる試算を行っていくにあたっては、民間事業者とヒアリングを重ねながら必要となる金額を算出してまいります。現段階の金額では、あくまで他の事例等を参考に行っているというもですが、他の事例において、一つ一つそこが杭基礎かどうかとか細かいところまですべてを調べたわけではございませんので、引き続き試算をして参ります。この今後のプロセスにおいても試算の過程は何度かございますということをお願いしたいと思います。

【質疑】

- アイスショーの設備にいくらかかるんですか。アイスショーは年間何回やるんですか。

【回答】

- アイスショーにつきましては現段階での想定の利用シーンのひとつとして載せておりますが、日数など具体的な想定をしているものではございません。アイスショーについては、事業者へのヒアリング等の中では、全国的に 5000 人規模のアリーナ建設が進んでいる中、期待されるコンテンツの一つであるということをお聞きしたことから、想定利用シーンの一つとして入れさせていただいたものです。

【質疑】

- ブロンコスを誘致するっていうのはいつ決まったんでしょうか。アリーナはバスケットをやるために作るんでしょうか。また小学校でブロンコスのチラシが配られましたが、こういうのを配っていいんでしょうか。

【回答】

- プロバスケットボールチームのさいたまブロンコスについては、すでに本市をホームタウンとしているチームであり、基本計画等においても、誘致をするということは掲載しておりません。また小学校等へのチラシ配布についてですが、こちらは本市とブロンコスは連携協定を締結しており、これに基づきチームの活動等についての周知を目的に学校へのチラシ配布を行ったものです。

【質疑】

- あと市長は盆踊りには顔出すのに、なぜここにこないのですか。

【回答】

- 先ほどの区長の話と同じにはなりますが、次世代型スポーツ施設の整備及び与野中央公園

の整備についての所管課として、責任をもって皆様にご説明をしているものです。

【質疑】

- PFI方式だと業者に丸投げで、行政も丸投げしちゃったら意見が言えないってことを聞いてます。そうすると業者はやりたい放題で、絶対手抜くと思うんですね。そこら辺を市はどのように考えているのでしょうか。

【回答】

- PFI方式においては、実施方針や要求水準書等により施設コンセプトや考え方をお示ししたうえで提案を求めます。いわゆる一括発注、性能発注というものですが、これは一つは、来場される皆様により良い環境を提供するために、民間事業者が持つ様々なノウハウを提供いただくために、仕様を具体的に細かく定めて発注する従来の方式とは異なるものでございます。一方で、丸投げだというご意見もございますが、そのようなことにならないよう、モニタリングという仕組みが完備されており、事業者が作成した設計書等について、別の設計者が確認し、適正な管理ができていくか適宜チェックをしていく仕組みになっています。このような仕組みにおいて、事業が適正に履行がなされているか、適宜確認をしていく仕組みがございますので、こちらに沿って適切に進めていくものです。

【質疑】

- 見取り図や平面図、鳥瞰図といったイメージが湧くような図面は出さないのですか。

【回答】

- 本事業では、民間の提案を募って施設整備を行っていくこととしており、現時点で具体的な建物の鳥瞰図や平面図などをお示ししておりません。言葉ばかりの資料、説明になってしまっている部分については本当に申し訳ないと思うんですが、可能な限り民間事業者の自由なアイデアにより整備をしていきたい、型に縛られず提案をいただきたいという想いもあり、このような形で進めているところです。

【質疑】

- 基本計画を出した後に地盤調査やるような計画ではずさんではないのか。

【回答】

- 地盤調査につきましては、本年度スポーツ政策室において調査を実施しましたが、それ以前に都市局において、過年度に公園を計画するために地盤調査を実施しており、そのうちのこのアリーナが建つであろう箇所2ヶ所で調査を実施しております。スポーツ政策室において実施した箇所は、その補完的な調査ということで実施をしたものです。

【質疑】

- あそこは地盤が悪いってことはご存知ですよね。地盤が悪いところにああいうものを建てれるのでしょうか。

【回答】

- 本市で実施したボーリング調査等の結果、地盤面から33メートルより深いところに支持層

があるとの結果を得ております。そこまでの杭基礎を入れることで施設を建てられると認識しています。

【質疑】

- わたしたちが望んでいるのは与野体育館が新しく使いやすくなることです。だから中央区そしてさいたま市の人たちにとっては新しい与野体育館がメインアリーナになるのではないかと。本当に市民のことを考えた形で考えていただきたいと思います。

【回答】

- 我々の考えているアリーナにつきましては、メイン、サブどちらか一方ではなく、両施設と結節空間を含めて、市民のためのアリーナであると考えて整備を検討しています。特にご利用いただく利用形態によって、メインアリーナは「みる」スポーツを、サブアリーナの部分は「する」スポーツを市民の皆様に楽しんでいただけるアリーナを整備していくこととして整理しています。